

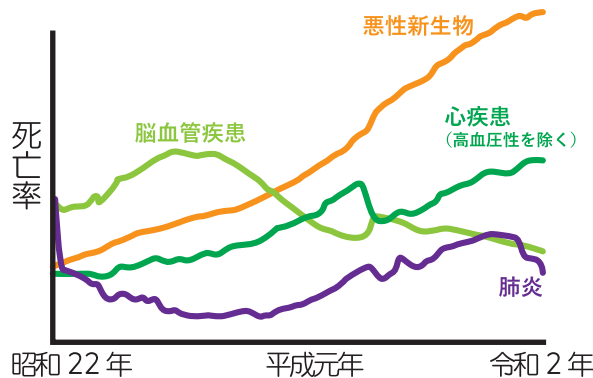
ワンポイント アドバイス!

検診で肺がんを早期発見しよう

肺の状態を詳細に調べる方法として、胸部 CT 検査があります。胸部 X 線検査では見つかりにくいとされている小さな病変を検出することができるため、近年急増している肺がんの早期発見に有効な手段となっています。

肺がんの現状

日本における死因順位第 1 位は悪性新生物(がん)であり、その部位別死亡率の第 1 位は「肺」です。



胸部CT検査で早期発見

肺がんは進行度が進むと生存率も低くなりますが、早期に発見し治療すれば約 7 ~ 8 割が治るとも言われています。肺がんの早期発見に効果的なのが、胸部 CT 検査です。当法人 健康開発センター ウィルでも検査を実施しています。



こんな方にお勧め…

- 40 歳以上で喫煙している
- 喫煙指数(1日の喫煙本数 × 喫煙年数)が 600 以上である
- 咳や痰、胸痛が 1 ヶ月以上続いたり、血痰がでる
- 近親者にがんの人がいる
- 胸部 X 線検査で異常があったことがある



参考：低線量肺がん CT 検診の知識と実務 改定 3 版